

ケル株式会社殿における COBOL資産を活用した 基幹システムマイグレーション事例

2006年7月21日

株式会社 日立システムアンドサービス
産業システムサービス事業部

All Rights Reserved. Copyright © 2006, Hitachi Systems & Services, Ltd.

Contents

- 1 ケル株式会社殿ご紹介
 - 1 - 1 ケル株式会社殿ご紹介
 - 1 - 2 ケル株式会社殿の情報システム
- 2 マイグレーション内容
 - 2 - 1 システム構成概要
 - 2 - 2 マイグレーション対象資産概要
 - 2 - 3 スケジュール
 - 2 - 4 マイグレーション効率向上施策
 - 2 - 5 システム信頼性向上施策
 - 2 - 6 システム構成詳細
 - 2 - 7 オンライン画面、コンソール画面 (例)
- 3 成果

1. ケル株式会社殿ご紹介

1 - 1 ケル株式会社殿ご紹介

精密コネクタ、ICソケット等の電子部品製造業
次世代製品が求める「軽」「薄」「短」「小」に対して
「最先端コネクション・テクノロジー」を追求しています

設 立 1962年

資本金 16億1,700万円

売上高 76億7,000万円

本 社 東京都多摩市永山

営業所 国内（宇都宮、水戸、名古屋、大阪）
海外（北米カリフォルニア州）

事業所 山梨、長野

従業員 249名

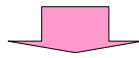
ホームページ <http://www.kel.jp>



1 - 2 ケル株式会社殿の情報システム

1980年代から日立メインフレームを運用
販売管理、生産管理等の基幹システムを自社開発
近年になりオープンシステムが増加
経理、実績収集等の部門系システムをオープン化

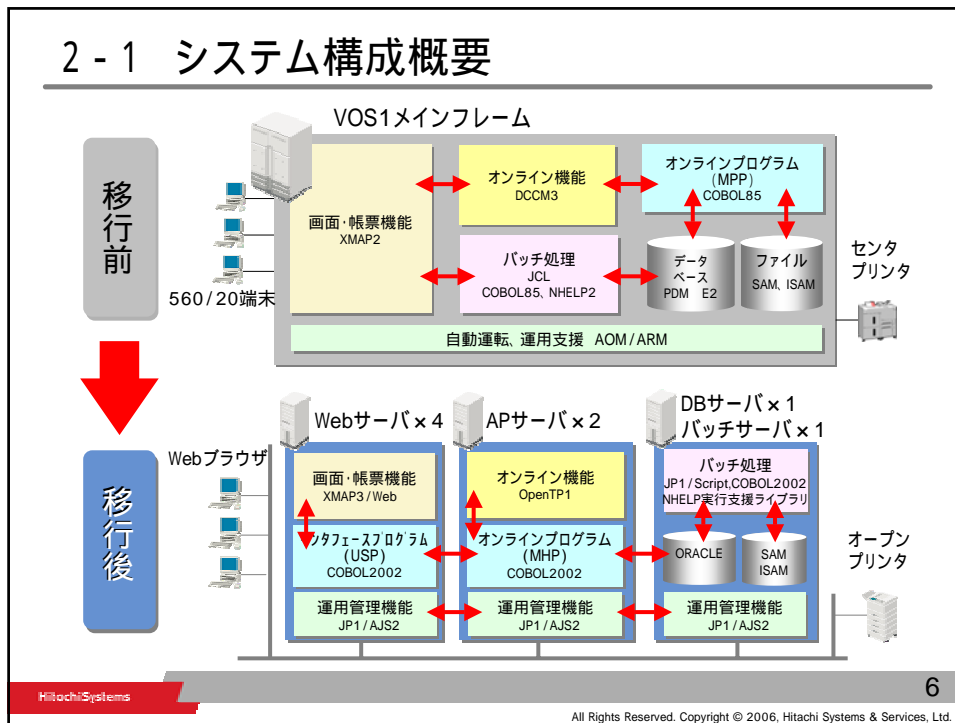
メインフレームとオープンシステムの連携が課題に
・連携処理を行う夜間バッチが翌朝迄かかる
・コード変換、CSVファイル作成等で負担増加



2005年、メインフレームのマイグレーションを決断
・部門系オープンシステムで経験がある
Windows Server ベースのオープンシステムを採用

2 . マイグレーション内容

2-1 システム構成概要



Hitachi Systems

6

All Rights Reserved. Copyright © 2006, Hitachi Systems & Services, Ltd.

2-2 マイグレーション対象資産概要

No	分類	メインフレーム	オープンシステム	本数	コソバ-タ	
1	プログラム言語	COBOL85	オンライン	400	使用	
2			COBOL2002(日立製)	バッチ	1,500	使用
3			NHELP2	NHELP実行支援ライブラリ(日立製)	600	使用
4	オンライン (DC) 機能	DCCM3	OpenTP1(日立製)	-	-	
5	画面機能	XMAP2	XMAP3(日立製)	400	使用	
6	帳票機能	XMAP2	XMAP3(日立製)	40	使用	
7	対話メニュー機能	IEX-PANEL	JP1/Scriptメニュー機能(日立製)	50	-	
8	ジョブ制御言語	JPROC(JCL)	JP1/Script(日立製)	2,000	使用	
9		CPROC(IEXコマンドプロシジャ)	JP1/Script(日立製)	200	使用	
10	データベース (DB)	PDMII E2	Oracle9i	120	使用	
11	ファイル	ISAM, SAM	COBOL2002のISAM, SAM(日立製)	50	-	
12	ソートユーティリティ	XSORT	SORT(日立製)	1,800	使用	
13	FTP	FTP	ネットワークドライブ割当てファイルコピー	50	使用	
14	コンソール画面機能	VOS1コンソール	COBOL2002とJP1/Scriptで開発	-	-	
15	スケジューリング	AOM, ARM	JP1/AJS2(日立製)	200	-	
16	バックアップ	VOS11ユーティリティ	ARCServe	-	-	

Hitachi Systems

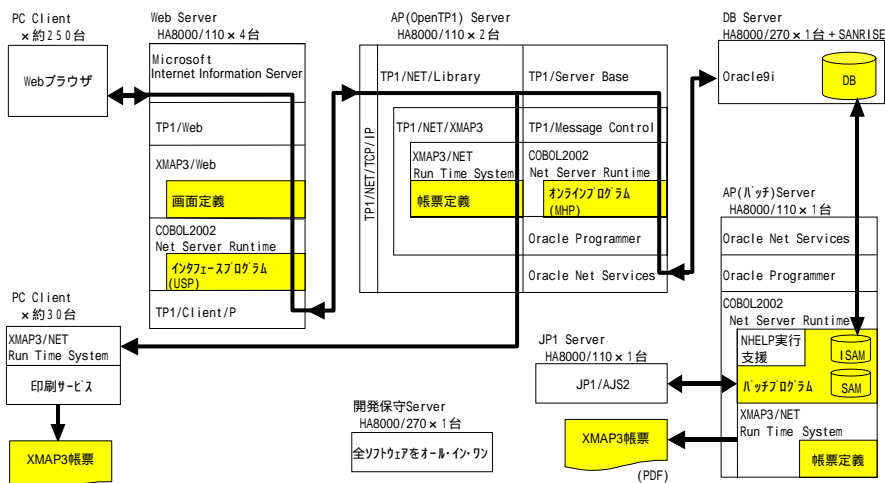
7

All Rights Reserved. Copyright © 2006, Hitachi Systems & Services, Ltd.

2 - 5 システム信頼性向上施策

No	内容	効果
1	Web Server	<ul style="list-style-type: none"> ・4台の冗長構成、障害時は縮退運転 ・障害時の切替は、BATコマンドによる手動切替
2	AP(OpenTP1) Server	<ul style="list-style-type: none"> ・2台の冗長構成、障害時は縮退運転 ・障害時の切替は、BATコマンドによる手動切替
3	DB Server	<ul style="list-style-type: none"> ・本番機1台、予備機(開発保守Server)1台の冗長構成 ・DBを格納するストレージは、メインフレーム並の信頼性を持つ外付けHDD(日立SANRISE)を採用 ・障害時の予備機への切替は、手作業にてサーバを接続替える
4	AP(パッチ) Server	<ul style="list-style-type: none"> ・障害回復後、バックアップからシステム全体を回復
5	JP1(スケジューリング) Server	
6	開発保守 Server	

2 - 6 システム構成詳細



2-7 オンライン画面、コンソール画面(例)

The screenshot shows a window titled 'Microsoft Excel - 画面' displaying a table with multiple columns and rows of data. The data appears to be organized in a grid format, possibly representing system metrics or logs. The interface is dark-themed with green and yellow text.

旧メインフレーム
と同様な
エンドユーザ操作

旧メインフレーム
と同様に
実行監視可能

The screenshot shows a console window with a list of data, likely a log or a list of system events. The text is white on a dark background, and it appears to be a detailed view of the data shown in the online interface.

3. 成果

3 成果



移行期間

- 移行期間: 15ヶ月(資産凍結期間は4ヶ月)

基幹系システムと部門系システムのDBが直接連携

- 従来: 夜間バッチ処理で相互に更新して連携
成果: 基幹系システムと部門系システムのDB統合も可能

運用保守要員の兼務が可能

- 従来: メインフレーム担当とオープンシステム担当は兼任不可
成果: 担当を兼務、プログラム言語も選択可能

オンライン業務終了後の夜間バッチ処理が1/3に短縮

- 従来: 夜間バッチ処理終了は翌朝6:00
成果: オンライン業務を2時間延長しても、深夜0:00前には終了

付録 お問合せ先

お問合せ先

レガシーマイグレーションソリューション

<http://www.hitachi-system.co.jp/index.html>

株式会社 日立システムアンドサービス
産業システムサービス事業部
オープンソリューション本部
マイグレーションセンタ
電話 : 03-6718-5876(ダイヤルイン)
E-mail: migration@hitachi-system.co.jp

〒108-8250 東京都港区港南2-18-1 JR品川イーストビル

HitachiSystems